

2023年6月社長会見

1. 営業・輸送概況
2. 画像解析 AI を用いた視線解析による運転士養成の実施
3. バリアフリー設備の整備計画と緊急時における列車からの避難方法のお知らせ
4. アフターコロナにおける夏の観光施策等について

詳細

1. 営業・輸送概況

【運輸取扱収入（速報値）】

収入ですが、5月はコロナ前の2019年比で90.5%、6月は7日までの1週間分で83.0%です。

運輸取扱収入（速報値）

	前年同日比			
	収入計	近距離券	中長距離券	定期券
5月	122.1% (90.5%)	119.3% (105.5%)	131.8% (85.7%)	98.7% (90.0%)
6月(6/1~7)	112.3% (83.0%)	108.8% (98.7%)	120.9% (76.7%)	95.6% (87.5%)

※実績は直営の速報値。駅などでの取扱高(消費税を含む)を示すものであり、旅行会社での発売分などを除きます。
※ () 内は、コロナ前の2019年同日比。

【新幹線・在来線特急・近畿圏のご利用状況（速報値）】

次に、ご利用状況は、山陽新幹線は、5月が2019年比で87%、6月が7日までで82%。近畿圏は、5月が101%、6月が7日までで95%です。

5月は、ゴールデンウィークのご利用が好調だったことやコロナウイルス感染症の「5類」への分類変更もあり、回復トレンドが続いております。

一方で、今年は平年より梅雨入りが早く、また台風2号の接近による連休等もあり、6月上旬はやや弱い状況になっています。

新幹線・在来線特急・近畿圏のご利用状況（速報値）

	前年同日比			
	山陽新幹線	北陸新幹線	在来線特急	近畿圏
5月	139% (87%)	136% (92%)	158% (83%)	113% (101%)
6月(6/1~7)	128% (82%)	153% (95%)	148% (72%)	104% (95%)

※実績は速報値。近畿圏は近距離券発売実績の前年同日比。

※（）内は、コロナ前の2019年同日比。

2. 画像解析 AI を用いた視線解析による運転士養成の実施

【「リスクを想定した先を読む運転」の重要性を教育】

当社はこれまで、「G7広島サミット開催時のA Iカメラによる警戒警備」や「A I車両側面カメラによるホーム安全の取り組み」など、様々な場面で、A I技術を活用したシステム開発をしてまいりました。

このたび、運転士の新規養成課程において、自社開発した画像解析A Iを活用して、一部の教育を開始しました。

当社では、新規に運転士を養成する講習課程において、運転士として必要な心構えや知識、技能を習得させる中で、従来から、目線や視点の動きといった「視線挙動」に関する教育も取り入れています。

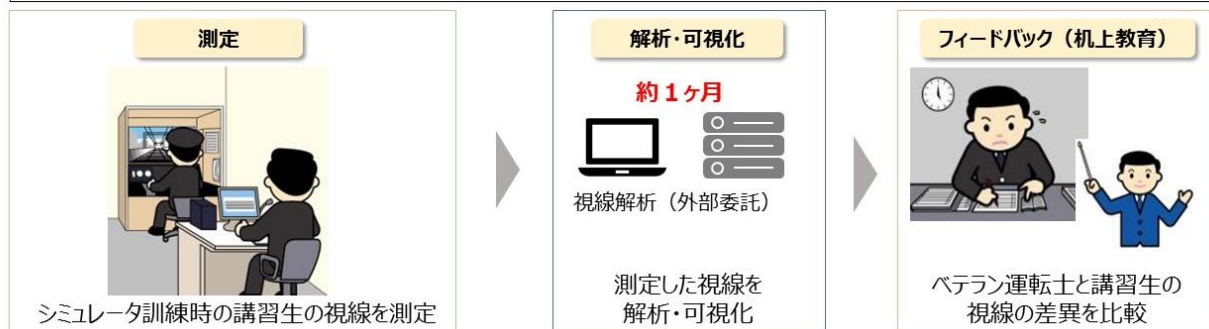
これまで、運転シミュレータによる技能訓練時に、視線を追跡できる「アイトラッカー」というデバイスを装着し、「視線挙動」を確認してきました。

しかしこれまで、視線の状態を解析し、講習生へフィードバックするまでに、社外へ解析を依頼していたため1ヶ月程度の時間を要していたことから、訓練時の感覚や記憶が鮮明な状態のうちに、よりタイムリーに振り返り教育を行うことによって、教育効果を上げるという課題がありました。

「リスクを想定した先を読む運転」の重要性を教育

【これまで】

- ・従来から、「アイトラッキングシステム」を用いて、ベテラン運転士と講習生の視線挙動の差を教育
- ・測定した視線データを外部に委託し、解析・可視化
- ・約1ヶ月後に、解析されたレポートを用いて、講習生へフィードバック



課題

訓練時の感覚や記憶が鮮明な状態のうちに、タイムリーに振り返り教育を行うことによる更なる教育効果の向上

【画像解析 AI を用いた視線解析】

このたび、「アイトラッカー」の映像データと、当社データサイエンティストが開発した画像解析 AI を組み合わせることにより、「視線挙動」の測定から解析、フィードバックまでを、大幅に、高速・高精度で運用することが可能になりました。

この技術は、運転士の視線対象となる、信号機や手元の計測機器、視線の方向など、さまざまな対象物を AI が学習し、講習生の実際の視線と結び付けて、定量的に自動で解析し、客観的データとして、タイムリーに可視化するものです。

このような、自社開発 AI を活用した視線解析は、鉄道業界では珍しいのではないかと思います。

これにより、シミュレータ訓練を行ったその場で、すぐに自らの「視線挙動」の状態を振り返ることができるようになります。また、ベテラン運転士の「視線挙動」との差異を客観的に比較して、自ら気づきを得ることもできます。



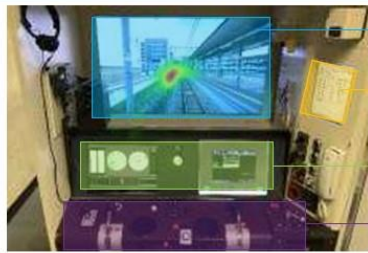
【視線挙動の解析・フィードバック（イメージ）】

「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2027」にも掲げる、「人の特性（いわゆるヒューマンファクター）を考慮した、科学的・技術的な安全対策」の実践として、さらなる教育効果の向上が図られることを期待しています。

なお、実際に訓練を実施した講習生からは、「自分とベテラン運転士の視線を比較して、すぐに振り返ることができ、目指すべき姿が分かった。」などと、その効果を実感する感想も多く、ムダのない適切な「視線挙動」で、「リスクを想定した先を読む運転」を効果的に習得する一助となっているのではないかと考えています。

また、今後は、車両や設備のメンテナンス分野における教育場面などへの展開も、検討してまいりたいと考えています。

視線挙動の解析・フィードバック（イメージ）



視線対象

前方
時刻表
計器
操作機器



視線滞在



視線分布



フィードバックレポート

今後

- ・車両や設備のメンテナンス分野における教育場面などへの展開も検討

3. バリアフリー設備の整備計画と緊急時における列車からの避難方法のお知らせ

【ホーム柵、ホーム安全スクリーンの整備】

「ホーム柵」や「ホーム安全スクリーン」の整備については、「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2027」において、到達目標として掲げる整備率に向けて、着実に進め、ホームの安全性向上をさらに図っているところです。

今年の4月1日より、京阪神地区の対象エリアにおいて、ホーム柵などバリアフリー設備の整備促進を目的とした「鉄道駅バリアフリー料金制度」が施行され、その制度を活用し、整備の加速化を図っております。

ホーム柵、ホーム安全スクリーンの整備

■「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2027」

[ホーム安全] ハード整備

取り組む内容	2027年度の到達目標
バリアフリー料金制度対象駅のうち、 ①乗降10万人以上の駅にホーム柵を整備 ②乗降10万人未満の駅にはホーム柵またはホーム安全スクリーンを整備	①整備率6割※ ②整備率5割※

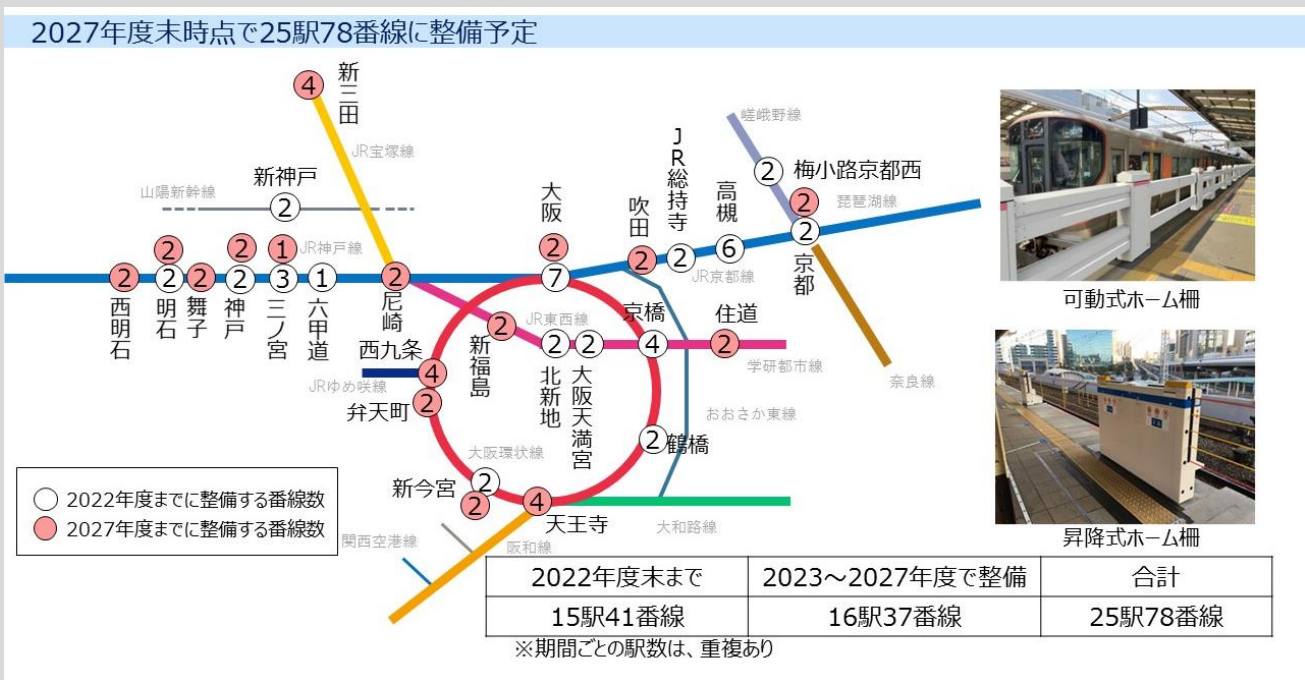
※整備率と拡大するエリアは、今後の関係機関との調整の結果、若干変更となることがあります

■ 2023年4月1日より、京阪神地区の対象エリアにおいて、「鉄道駅バリアフリー料金制度」を活用した整備を開始

- ・2032年度までに、整備対象エリアの全駅（211駅603番線）にホーム柵・ホーム安全スクリーンを整備
- ・お客様に広くご負担いただきながら、より安全に安心してご利用いただける鉄道をめざし整備を加速化（整備する設備：ホーム柵、ホーム安全スクリーン、エレベーター、ホームと車両の段差・隙間縮小）

【2027年度末時点で25駅78番線に整備予定】

まず、「ホーム柵」については、2027年度末時点で、弁天町駅・京都駅・吹田駅など、25駅78番線への整備完了を目指します。すでに昨年度までに、15駅41番線の整備が完了しておりますが、今年度から2027年度までの5年間で、さらに16駅37番線を整備する計画です。



可動式ホーム柵



昇降式ホーム柵

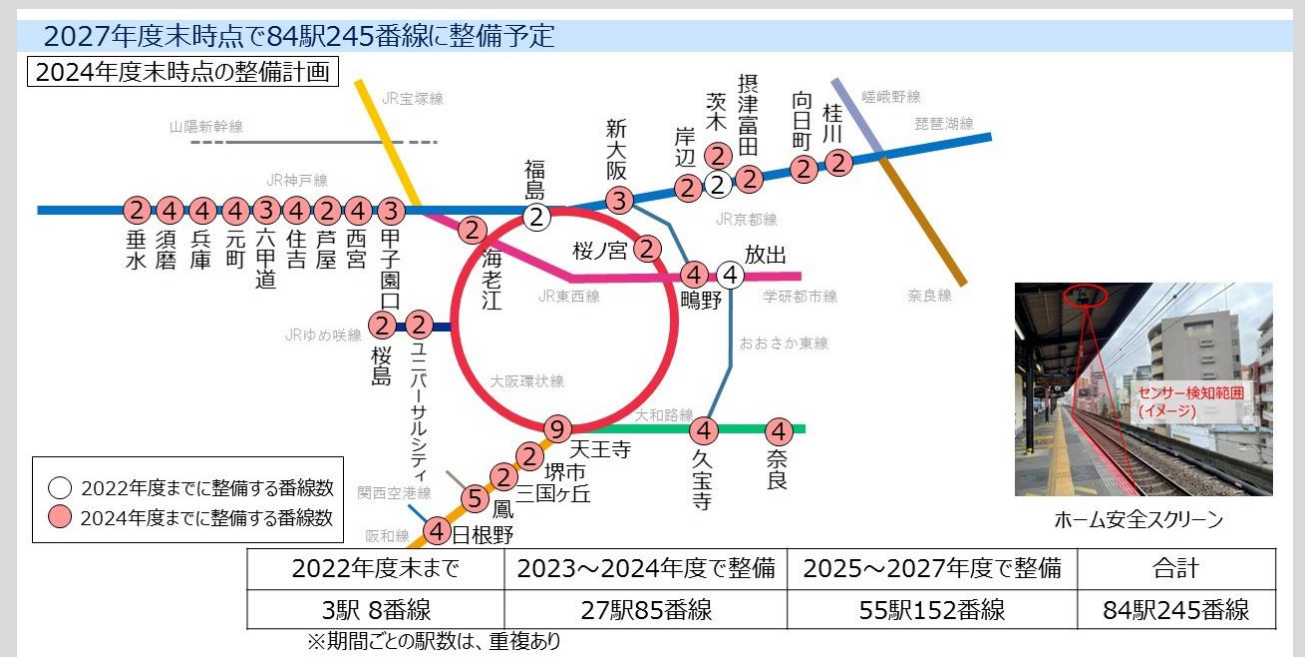
【2027年度末時点で84駅245番線に整備予定】

次は、「ホーム安全スクリーン」です。

2027年度末時点で、84駅245番線への整備完了を目指します。すでに昨年度までに、3駅8番線の整備が完了し、さらに今年度と来年度の2年間で、27駅85番線を整備する計画です。

また、その後、2025年度から2027年度の3年間についても、現在、整備計画の詳細、具体的な駅等を検討しているところです。

「ホーム柵」と「ホーム安全スクリーン」の整備を着実に実施し、より安全・安心してご利用いただけるように、取り組んでまいります。



ホーム安全スクリーン

【緊急時における列車からの避難方法のお知らせ】

2021年に発生した首都圏での傷害事件など、列車内でお客様の安全を脅かす事件が相次ぎました。

緊急時に、お客様に安全に避難いただくため、京阪神地区の「ホーム柵」について、「非常開ボタン」のサインを統一し、改めて設置いたしました。

ホーム柵の「非常開ボタン」のサインをお客様に分かりやすい表示に統一

- ・お客様に安全に避難いただくために、ホーム柵の「非常開ボタン」のサインを、より分かりやすいデザインに統一表示（国のガイドラインに則りデザイン決定）
- ・2022年度に、京阪神地区ホーム柵の全ての表示を統一済み



可動式ホーム柵



昇降式ホーム柵



フルスクリーンホームドア

また、これに加え、緊急時の「ホーム柵」の開閉方法や避難方法について、お知らせする動画を製作しました。

7月頃から、駅や列車内のビジョンでも放映することとしており、ご利用のお客様に、周知させていただきたいと考えております。

緊急時のホーム柵開閉方法や避難方法のお知らせ動画を放映

- ・ホーム柵の「非常開ボタン」の位置や、緊急時の安全な避難方法をお知らせする動画を放映予定(7月頃)
- ・動画の構成：①ホーム柵の「非常開ボタン」の設置位置のお知らせ
②避難の際の具体的な動き（ホーム柵の「非常開ボタン」を押す→ホーム柵ドアを開く）
③安全な避難のお願い



4. アフターコロナにおける夏の観光施策等について

【「ナツノレイル旅」～“鉄道の旅”ならではの価値の提供～】

コロナの5類移行後、初めての夏を迎えるにあたり、「ナツノレイル旅」と銘打ちまして、Z世代や、ファミリー層のご利用を後押しするプロモーションを展開し、「鉄道の旅」ならではの価値を提供してまいります。

特に、Z世代に向けては、Z世代向け情報発信プラットフォーム「アオタビ」の活用により、若者の旅行機運を醸成するとともに、「サイコロきっぷ 第5弾」や、当社初の試みである「新幹線車内で楽しむ謎解きキット」を展開いたします。具体的な内容につきましては、決まり次第、また改めて、お知らせさせていただきます。

また、今年の夏休みも、ファミリー向けの、『お子様1,000円』ファミリーきっぷの発売を予定しております。


そのほか、インバウンドについては、西日本エリアの各地域と連携し、旅の目的となる観光コンテンツと鉄道を組み合わせた商品化や、販促プロモーションを行うことで、西日本エリア全体へのさらなる誘客促進を図ってまいります。

また、3月のうめきた開業で関西空港から都市部へのアクセスがさらに便利になった特急「はるか」の訴求、そしてQRを活用してよりスムーズにご利用いただく取り組みを行っております。

また、来月、7月から開催する「兵庫デスティネーションキャンペーン」をはじめ、「G7広島サミット」で首脳の皆様が訪れた「宮島」や、その際にご乗船いただき話題となった観光型高速クルーズ船「シースピカ」などを活かした誘客、「岡山アフターDC」など、地域と連携した取り組みも進めてまいります。

「ナツノレイル旅」～“鉄道の旅”ならではの価値の提供～

- 移動需要の旺盛なZ世代をコアターゲットに、ファミリー層のご利用を後押しするプロモーションの展開
- コロナ5類移行後最初の夏旅に向け、「鉄道の旅ならではの」「鉄道で旅行する楽しさ」を発信



Z世代

ファミリー

ABEMA人気番組とコラボした旅行企画 (7月～)

昨年秋 「オカミちゃんには騙されない」とコラボして、「リベンジ修学旅行」をテーマにチェックインラリーや専用旅行プラン発売などを展開

今回 「今日、好きになりました。」とコラボしたZ世代の旅を盛り上げる新企画を実施

「アオタビ」専用旅行商品 (7月～)

「サイコロきっぷ」第5弾 (8月頃)

「新幹線で楽しむ謎解きキット」(9月頃)

「冒険TRAIN」 ～ファミリー向け鉄道利用促進キャンペーン～ (7月～)

- 子ども達のやってみたいことを応援する旅行企画
- 朝日小学生新聞 とタイアップし、自分だけの旅行新聞を作って思い出を残す企画
- ネット予約での「大人+子ども」でWESTERポイントを還元するキャンペーン
- 夏休み「お子様1000円ファミリーきっぷ」の発売

地域連携

兵庫デスティネーション
キャンペーン

せとうち・広島
(G7広島サミット2023 後)

岡山デスティネーションキャンペーン
アフターキャンペーン

インバウンド

地域・DMOとの連携により
鉄道と観光素材のセット商品販売

西日本各エリアへの送客

QRを活用した「はるか」利用促進

【法人・個人のお客様への取り組み】

鉄道のご利用による脱炭素の取り組みとして、法人向けに、出張移動で排出されるCO₂量を試算し、オフセットする「カーボンオフセットプログラム」を新しく試行いたします。

また、個人向けには、山陽新幹線をご利用されるWESTER会員のお客様に、「WESTERポイントを還元するキャンペーン」を実施しております。

加えて、今後、ビジネス利用のお客様が、法人出張サイトからご予約いただくことで、「WESTERポイント」を獲得できるキャンペーンも試行いたします。

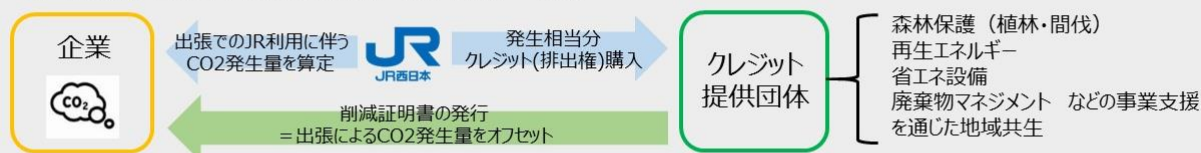
新しい中期経営計画にも掲げる「地球環境保護」や「デジタル戦略」にも立脚し、地域の皆様とも連携して、アフターコロナの新たな移動の価値を創出し、これからも、地域の振興に貢献するとともに、鉄道の再活性化を図ってまいります。

法人・個人のお客様への取り組み

法人のお客様向けの取り組み

脱炭素に向けた取り組み

- ・カーボンオフセットプログラムの試行（e5489サービス）



個人のお客様向けの取り組み

WESTERポイント還元キャンペーン

- ・山陽新幹線内対象区間 2回以上乗車でポイント還元（6/1～6/30）
- ・法人出張サイトを経由したポイント還元キャンペーンの試行

